

## 4月と11月は



## 「いじめ防止強化月間」です

## 趣 旨

学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に協力し合いながら、社会総がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むという機運を高めるとともに、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応をめざした取組を推進します。

## いじめって何？

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。

「いじめ防止対策推進法」より  
(平成25年9月28日施行)

## 具体的には・・・

- ◆ 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる
- ◆ 仲間はずれ、集団による無視をされる
- ◆ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする
- ◆ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする
- ◆ 金品をたかられる
- ◆ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- ◆ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる 等

## 保護者のみなさんへ

家族全員でいじめが人権侵害であることを理解するとともに、日頃から大人が規範を示しましょう。

- 子どもの自尊感情を高める言葉をかけましょう
- 子どもの規範意識を養うため、自らの言動が見本となるよう心がけましょう。
- 子どもが発するサインをキャッチしましょう
- 子どもが助けを求めやすい環境を作りましょう
- いじめの防止、発見、措置に学校等と連携し、協力しましょう。
- 親子で共感できる活動をしましょう
- 家族そろって地域活動に参加しましょう

## 地域のみなさんへ

いじめ問題の理解を深め、地域の子どもを守り育てていきましょう。

- 日常的に子どもたちを見守りましょう
- 地域行事等を通して子どもたちと交流を深めましょう
- いじめやいじめかなと思うことを見かけたら、学校又は関係機関（教育委員会）等へご連絡ください。
- 異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ環境づくりをしましょう
- 学校やPTAと連携していじめ問題に取り組みましょう。

三重県いじめ防止条例では、保護者等の責務（第8条）、県民及び事業者の役割（第9条）に上記の責務や役割を示していますので、ご協力をお願いします。

## インターネットや携帯（スマートフォン等）を通したいじめやトラブルを防ぐために

【総務省『インターネットトラブル事例集』から要約】

- 子どもの利用状況を観察し、ときには長時間による身体への影響を家族で話し合ってみるなど、正しい使い方を工夫しましょう。
- 「フィルタリング」は、好奇心や楽しさによる冷静さを欠いたアクセスに適度なブレーキをかけるだけでなく、悪意の仕掛けがあるサイト等へのアクセスを防いでくれるツールです。フィルタリングを上手に活用しましょう。
- 多くのSNSは、利用規約の中で迷惑行為や誹謗中傷を禁止しています。子どもには、その内容に同意して利用登録をしたことを忘れず、ルールに則った使い方をさせましょう。

